

せんだい GREEN アクションアワード表彰事業者「黄海製本」



黄海製本 代表取締役の高秀正之さん（左）、総務部の小川佳代さん

株式会社黄海製本は、社内の設備を省エネ機器に順次更新していることに加え、運用面でも社内全体で省エネ意識を高め環境負荷の低減に取り組む組織性が高く評価された。

仙台市の補助金も活用し、社内の照明を LED 化することをきっかけに本プログラムへの参加を決めた黄海製本。代表取締役社長の高秀正之さんは、「LED 照明に変えた当初は明るすぎるという意見もあったが、慣れると手元が明るく見やすくなり、結果として仕事環境の向上にも繋がった」と話してくれた。

黄海製本では、工場内の全ての照明と駐車場の外灯を LED 化したほか、高効率の空調設備や変圧器の導入など、社内の設備を順次更新することで省エネを実現している。

さらに「その照明は本当に必要か」という点も改めて見直した。通路などの照明を一部間引いたほか、食堂スペースには紐付きの照明を導入し照明をつける必要のない時にはこまめにスイッチをオフ。搬出入口にはビニールストリップカーテンを設置するなどして、空調管理の面でも工夫が見られる。「不必要な照明の消灯をこまめに呼びかけることで、社員全体の意識向上に繋がった」とのことだ。



社内の照明を LED 化し、紐付きタイプの導入など工夫しながらこまめな消灯も徹底

中小企業では社長が主導して省エネに取り組むケースも多いが、高秀さんは「トップダウンの体制はあまり好きではない」と言う。従業員にも積極的にアイデアを出してもらうため、月に 1 回のランチミーティングを通じて省エネに関する取り組みについても社内全体で問題を共有し改善・検討を行っている。

総務部の小川佳代さんによれば「従業員全体の意識が変わってきているように思う。自分から意見を言える人も増えている」とのこと。現場で実際に働いている従業員の目線を大事にしながら、今後もさらなる環境負荷の軽減に取り組んでいく。